

個別施策名		目指す姿	施策の方向性【項目のみ】
1	子育て支援の充実	「子育てするなら福島市」と子育て世代が集まり、子育てを楽しんでいます。	①安心して子育てできる環境づくり ②親子が健康でいきいきと生活できる環境づくり ③子どもが適切な支援を受けることができる環境づくり ④地域における子育てしやすい環境づくり
2	学校教育の充実	夢と志を持ち、可能性に挑戦するふくしまっ子の育成 子どもたちは、家族・地域とのつながりをもちながら、新たな課題に積極的に取り組み、将来の夢や希望に向かって確実に歩みを進めています。 また、健康的な生活を営むための知識や技能をもち、自ら進んで体力向上に取り組んでいます。	①多様性を認め共に生きる心の育成 ②豊かな体験活動・キャリア教育の充実 ③学校における読書活動の充実 ④意欲的に取り組み、学力を確実に身に付ける子どもの育成 ⑤よめる、つかえる力の育成 ⑥グローバル化に対応する力の育成 ⑦積極的に運動やスポーツに親しむ習慣や態度の育成 ⑧子どもの心に寄り添った学校保健の推進 ⑨地産地消を意識した学校給食・食育の推進 ⑩一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進 ⑪ICTの活用、プログラミング教育の推進 ⑫オリンピック・パラリンピック教育の推進 ⑬一人一人に寄り添う教育相談体制の充実 ⑭不登校児童生徒を支援する取組の推進 ⑮いじめ根絶に向けた組織的な取組の推進
3	学びの環境の充実	子どもたちの健やかな成長と学びを支える環境の整備 キャリアステージに応じた資質能力や、今日的な課題を解決する能力を備えた教員により、安全安心で良好な学習環境のもと、学校、保護者、地域が一体となり子どもたちの健やかな成長と学びが支えられています。	①教職員の研修、指導力の向上 ②学校における働き方改革 ③教職員へのサポート体制の強化 ④家庭・地域の教育力の活用による子どもの自立に向けた力の育成 ⑤地域の人材・資源の効果的な活用による学校の活性化 ⑥教科や学びの関連性・系統性・連続性を踏まえた指導の推進 ⑦安全・安心で質の高い学校施設等の整備推進 ⑧より豊かな学びを促す学習環境の有効活用
4	男女共同参画・人権尊重の推進	一人一人がお互いを尊重し、それぞれの個性と能力を発揮していきいきと生活しています。	①男女共同参画の意識づくり ②誰もが参画できる環境づくり ③女性活躍の推進 ④人権尊重による安心して暮らせる社会づくり
5	放射線対策の充実	放射線に関する知識をもち、安心して生活しているとともに、風評に対して自らの考えを主張することができます。	①不安軽減と情報の発信 ②健康管理の支援 ③空間放射線量のモニタリング・食の安心安全の確保 ④農産物の安心安全の確保 ⑤放射線教育の充実 ⑥市外へ避難している人への支援 ⑦除染後の安心安全
6	危機管理・防災減災体制の充実	災害に対し被害を最小限に抑えるため、すべての世代が防災や減災について学べる機会を一層充実し、被害を未然に防ぐ「強さ」と被災した場合でも迅速に回復できる「しなやかさ」をもって、地域防災の担い手として活躍し、安心して安全に暮らしています。	①地域防災力の強化 ②災害に強い社会インフラ等の整備 ③行政の災害対応力の強化
7	消防・救急体制の充実	大規模災害等に備えた消防力が充実し、市民や企業と共に命を守る「救命のリレー」の取り組みが進められ、子どもから高齢者までが安心安全に暮らしています。	①消防力の充実 ②災害対応能力の強化 ③救急体制の確保 ④火災予防の推進
8	安心安全な市民生活の確保	市民一人一人が地域社会の一員としての自覚を持ち、思いやりにあふれた地域コミュニティづくりを自ら率先して努め、犯罪や事故の起こりにくい地域社会で安心して安全に暮らしています。	①防犯対策の充実 ②交通安全体制の充実 ③身近な道路の安全確保
9	健康・医療体制の充実	住み慣れた地域において、生涯にわたり健康で安心して暮らし、必要な時に必要な医療サービスが受けられる医療体制が整っています。	①健康づくりの推進 ②地域医療の確保 ③救急医療の確保 ④在宅医療体制の整備 ⑤医療安全体制の確保
10	保健衛生・健康危機管理体制の充実	人の命と健康を脅かす感染症や食中毒などの健康危機事象防止のため、日ごろから地域や職場において予防対策を意識した健康づくりを進めるとともに、健康危機事象が発生した場合は、市民、事業者、行政が一体となり、被害を最小限に抑えるための対策に迅速に取り組んでいます。	①感染症予防対策の推進 ②安全で衛生的な生活環境の確保
11	地域福祉の推進と障がいのある人の福祉の充実	市民一人一人が地域の中でともに支えあいながら、思いやりのあふれる共生社会で暮らしています。	①地域福祉の推進 ②生活困難者への支援 ③障がいのある人の福祉の支援
12	高齢者福祉の充実	高齢者が生きがいを持ち、住み慣れた地域において、多様なサービスを利用しながら高齢者やその家族を地域全体で支え合い、心豊かに安心して安全に暮らしています。	①その人らしく暮らせるまちづくりの推進 ②地域で高齢者を支える体制の整備 ③安心安全に暮らせるまちづくりの推進
13	生涯学習の振興	生涯学習を通じた人づくり、つながりづくり、地域づくりが着実に広がっています。	①一人一人の未来が広がる生涯学習の推進 ②持続可能な地域づくりに向けた生涯学習の推進 ③学びを支える体制と環境の充実
14	多文化共生の推進	市民一人一人が、国籍の違いや多様な言語、文化、習慣があることを認め合い、ともに地域社会の一員として躍動する「多文化共生社会」が実現しています。	①相互に理解し、互いに尊重し合う共生社会の推進 ②外国人への適切な情報伝達・共有手段の確保 ③外国人との円滑なコミュニケーションの実現 ④外国人を取り巻く生活サービス・環境の改善 ⑤外国人の生活状況やニーズの把握による各種外国人受入れ・共生施策の充実・強化 ⑥外国人受入施策を包括的に推進するための体制整備 ⑦未来につながる国際・文化都市の実現
15	スポーツの振興	子どもから高齢者、障がいのある人ない人、外国人、全ての人が、日常的にスポーツに親しみ、人生を楽しく健康でいきいきと、心豊かな生活を送っています。	①スポーツ参画人口の拡大 ②スポーツを通じた共生社会の実現 ③スポーツ施設の適正化と効率的な活用 ④スポーツツーリズムの推進

個別施策名		目指す姿	施策の方向性【項目のみ】
16	文化芸術の振興	多くの市民が、まちなかで音楽を奏でるなど、日常生活の中で様々な文化芸術に触れ、ゆとりと潤いのある心の豊かな生活を送っています。 また、地域住民や関係団体等との協働により、文化財を適切に保護・保存し、後世に継承するとともに、その魅力を幅広く活用した地域づくりに取り組んでいます。	①福島市文化振興条例の制定 ②古閑裕而のまち福島市 ③文化芸術活動の振興 ④文化財の保護・保存と活用
17	環境の保全	安心安全で豊かな環境を守り、共生を図りながら持続可能なものとして未来へとつなぎ、創出する都市となっています。	①気候変動対策の推進 ②持続可能な循環型社会の構築 ③生物多様性を育む豊かな自然環境との共生 ④安心・安全を支える生活環境の保全 ⑤市民・事業者とのパートナーシップによる地域づくり・人づくり ⑥汚水の適正な処理
18	良質な水道水の安定供給	本市が誇る良質でおいしい水に理解と関心が深まり、さらに多くの方に使用されるとともに、地震等の災害が発生しても安定して供給されます。	①水需要減少の抑制 ②老朽施設の更新と耐震化の推進
19	都市緑化・景観形成の推進	美しく豊かな自然を守りながら、未来に伝えたいふるさとの景観とゆとり、潤いのあるまちに暮らしています。	①公園施設の安全性・快適性向上の推進 ②市民との協働による緑化・保全の推進 ③「福島らしさ」を生かす景観形成の推進
20	快適な住環境の形成	良好な住宅・住環境で、誰もが安全で安心して暮らしています。	①良質な住まいづくり ②空き家の適正管理と既存住宅の利活用 ③地域の特性を踏まえた住環境づくりの推進 ④安定した住宅の確保
21	就労の支援と雇用の創出	若者や女性、高齢者や障がいを持つ方など誰もが雇用の機会に恵まれて、安心して働いています。	①若年者の雇用促進 ②働く女性の支援 ③高齢者や障がいを持つ方の雇用促進 ④雇用機会の創出
22	中心市街地の活性化	ふくしまの魅力があふれ、快適でにぎわいのあるまちに住んでいます。	①回遊環境の向上と関係人口の増加 ②商店街とまちなかの魅力向上
23	道路交通ネットワークの整備	徒歩、自転車、自動車、公共交通を利用し、安全で快適に都市間・地域間・拠点間を移動できる道路交通ネットワークが形成されています。	①幹線道路網の整備 ②都市計画道路網の見直し ③生活道路の整備 ④道路施設の適正な維持管理 ⑤防災機能としてのネットワークの強化 ⑥地域の安全性の向上 ⑦拠点形成と拠点間のアクセス向上 ⑧地域のまちづくりへの貢献
24	公共交通網の充実	高齢者、障がい者、子育て世代等を含めたあらゆる利用者の目線に立った公共交通網が形成され、豊かで暮らしやすい地域社会が実現されています。	①持続可能な公共交通網の整備 ②自転車ネットワークの整備 ③安全性・快適性の促進
25	移住定住・関係人口の拡大	本市の魅力が市内外に発信され、人・物・情報・文化が活発に行き交うことで、多様で継続的な関係性を有した関係人口が創出・拡大されています。 また、本市への関わりが強くなり、多くの人々が他地域から本市に移住定住、滞在しています。	①総人口の減少と少子高齢社会への地域の対応力向上 ②都市間交流の推進 ③移住定住の促進
26	農林業の振興	魅力と活力にあふれ、次世代へ向け持続成長する農林業が営まれています。	①担い手の育成と経営安定 ②農産物の安全性確保と消費拡大 ③農林業環境の維持と整備 ④森林資源の保全
27	工業の振興	企業の労働力確保と経営強化が図られ、健全に企業間で切磋琢磨する環境のなかから、世界を代表する製品を産み出しています。	①人材の確保と育成 ②企業の経営強化 ③働き方改革の推進 ④企業誘致の促進
28	商業の振興	すべての市民が、日常に必要なものは身近で購入でき、中心市街地には買い物に出かけたくなるにぎわいのある商業環境があり、楽しく買物ができます。	①経営基盤強化やICTの活用 ②にぎわいのある商店街の充実 ③中心市街地の魅力向上 ④地場産品の流通拡大と価値向上 ⑤地方卸売市場の活性化
29	観光による地域振興	国内外から魅力的な観光地として高く評価され、市民の郷土に対する誇りと愛着が深まり、福島を訪れる人(来訪者)も、もてなす人も、すべての人が笑顔になっています。	①ふくしまツーリズムの磨き上げと付加価値化 ②人材の発掘・育成と組織づくりによる観光まちづくりの推進 ③ホスピタリティの深化 ④コンベンションの推進
30	市民共創・地域連携の推進	「自分たちのまちは、自分たちで考え、みんなでまちをつくる」という住民自治意識の高まりのもと、市民総参加でまちづくりに取り組んでいます。 また、市民、団体、企業、高等教育機関、地域、行政など、その立場の異なるさまざまな主体が共に力をあわせ、地域の特色あるまちづくりを推進しています。	①地域コミュニティの活性化 ②共創の推進 ③地域の個性を生かしたまちづくりの推進 ④若者の地元進学率・就職率の向上 ⑤包括連携協定による地域課題への対応
31	広聴広報の充実	市民の意見や要望を的確に把握する広聴活動と、市民が必要とする情報を全ての市民にわかりやすく提供する広報活動が充実しています。	①広聴活動の充実 ②広報活動の充実とシティセールスの推進
32	ICT化の推進	本市が抱える様々な課題への取り組みにICTが利活用され、市民一人一人が便利さと豊かさを実感できるまちを実現しています。	①ICTを活用した市民サービスの利便性向上 ②ICTを活用した市民生活を豊かにするまちづくりの推進 ③ICTを活用した行政事務の高度化・効率化
33	行財政経営の推進	持続可能な行財政運営を目指した取り組みが行われ、財政の健全性が維持されています。市民や市役所職員は、公共施設のあり方などに対しても危機意識を持っており、共に考え、共に取り組む風土が醸成されています。そのような活動を通して、市民、市役所職員相互に信頼感が高まっています。	①効率的で質の高い行政経営の推進 ②健全な財政運営の推進 ③公共施設の最適化と公有財産の有効活用